

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和4年3月29日(2022.3.29)

【国際公開番号】WO2021/075055

【出願番号】特願2021-552082(P2021-552082)

【国際特許分類】

H 0 4 L 4 1 / 0 8 9 5 ( 2 0 2 2 . 0 1 )

H 0 4 L 4 5 / 4 2 ( 2 0 2 2 . 0 1 )

H 0 4 L 4 1 / 3 4 2 ( 2 0 2 2 . 0 1 )

10

【F I】

H 0 4 L 4 1 / 0 8 9 5

H 0 4 L 4 5 / 4 2

H 0 4 L 4 1 / 3 4 2

【手続補正書】

【提出日】令和4年1月7日(2022.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータが、

第1のユーザが使用する仮想リソースが動作する1または複数の第1物理リソースを特定し、

前記第1物理リソースに接続する機器と、前記機器に接続し、前記第1のユーザ以外のユーザが使用する仮想リソースが動作する、前記第1物理リソースとは異なる1または複数の第2物理リソースとを特定し、

30

前記第1物理リソースを示す情報と、前記第2物理リソースを示す情報とを出力する処理を実行することを特徴とする情報処理方法。

【請求項2】

前記コンピュータが、

前記第1物理リソースおよび前記第2物理リソースの動作状況を特定し、

前記第1物理リソースを示す情報および前記第2物理リソースを示す情報を、前記動作状況に応じた態様で出力する

処理を実行することを特徴とする請求項1記載の情報処理方法。

【請求項3】

前記コンピュータが、

前記第1物理リソースを示す情報と、前記第2物理リソースを示す情報とを異なる態様で出力する

40

処理を実行することを特徴とする請求項1または請求項2記載の情報処理方法。

【請求項4】

前記コンピュータが、

前記機器として、前記第1物理リソースに接続する通信機器を特定し、前記通信機器に接続し、前記第1のユーザとは異なるユーザが使用する仮想リソースが動作する1または複数の前記第2物理リソースを特定し、

前記第1物理リソースを示す情報と、前記第2物理リソースを示す情報と、前記通信機器を示す情報とを出力する

50

処理を実行することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうち何れか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 5】

前記コンピュータが、  
前記通信機器が複数存在する場合、複数の前記通信機器同士を接続する通信経路のうち最短の通信経路を選択し、前記最短の通信経路内に存在する通信機器を特定し、  
前記最短の通信経路内に存在する通信機器を示す情報をさらに出力する  
処理を実行することを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理方法。

【請求項 6】

前記コンピュータが、  
前記機器として、前記第 1 物理リソースに接続する配線用差込機器を特定し、前記配線用差込機器に接続し、前記第 1 のユーザとは異なるユーザが使用する仮想リソースが動作する 1 または複数の前記第 2 物理リソースと、前記配線用差込機器に接続する通信機器とを特定し、  
前記第 1 物理リソースを示す情報と、前記第 2 物理リソースを示す情報と、前記通信機器を示す情報とを出力する  
処理を実行することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうち何れか 1 項に記載の情報処理方法。

10

【請求項 7】

第 1 のユーザが使用する仮想リソースが動作する 1 または複数の第 1 物理リソースを特定し、  
前記第 1 物理リソースに接続する機器と、前記機器に接続し、前記第 1 のユーザ以外のユーザが使用する仮想リソースが動作する、前記第 1 物理リソースとは異なる 1 または複数の第 2 物理リソースとを特定し、  
前記第 1 物理リソースを示す情報と、前記第 2 物理リソースを示す情報とを出力する  
処理をコンピュータに実行させるための情報処理プログラム。

20

【請求項 8】

第 1 のユーザが使用する仮想リソースが動作する 1 または複数の第 1 物理リソースを特定する第 1 特定部と、  
前記第 1 物理リソースに接続する機器と、前記機器に接続し、前記第 1 のユーザ以外のユーザが使用する仮想リソースが動作する、前記第 1 物理リソースとは異なる 1 または複数の第 2 物理リソースとを特定する第 2 特定部と、  
前記第 1 物理リソースを示す情報と、前記第 2 物理リソースを示す情報とを出力する出力部と  
を備えることを特徴とする情報処理装置。

30

【請求項 9】

情報処理装置と、前記情報処理装置に接続された情報処理端末とを備えた情報処理システムであって、  
前記情報処理装置は、  
第 1 のユーザが使用する仮想リソースが動作する 1 または複数の第 1 物理リソースを特定する第 1 特定部と、  
前記第 1 物理リソースに接続する機器と、前記機器に接続し、前記第 1 のユーザ以外のユーザが使用する仮想リソースが動作する、前記第 1 物理リソースとは異なる 1 または複数の第 2 物理リソースとを特定する第 2 特定部と、  
前記第 1 物理リソースを示す情報と、前記第 2 物理リソースを示す情報とを前記情報処理端末に出力する出力部とを含み、  
前記情報処理端末は、  
前記出力部から出力された情報に基づく表示を行う表示部を含む  
ことを特徴とする情報処理システム。

40

【請求項 10】

50

前記情報処理装置は、

前記第1物理リソースまたは前記第2物理リソースのうち、複数の物理リソースで動作する前記仮想リソースが同一であり、かつ、前記複数の物理リソースに接続する他の物理リソースが同一である場合、前記複数の物理リソースを特定する第4特定部をさらに含み、前記出力部は、前記複数の物理リソースを示す情報を、一つのノードとして表示させる指示を前記情報処理端末に出力し、

前記情報処理端末の前記表示部は、前記出力部からの指示に基づいて、前記複数の物理リソースを示す情報を、一つのノードとして表示する

ことを特徴とする請求項9に記載の情報処理システム。

10

20

30

40

50